

**救急・救助**

# 平成25年 救急概要

平成25年中の救急出場件数と搬送人員は、消防本部発足以来過去最多を記録し、救急出場1,919件、搬送人員1,834人となり、昨年と比較すると、件数では17件増加、搬送人員では23人増加している。

また、一日の平均出場件数は約5件となり、小野市内の救急車の平均現場到着時間は、119番入電からの通報時間も含めて平均で約7.2分となっている。

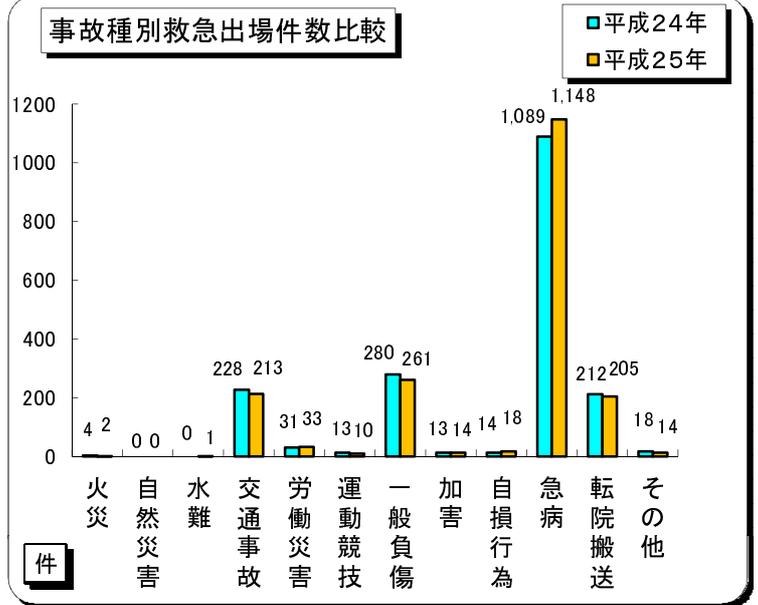
## 救急出場件数

平成25年中、1,919件の救急出場件数の事故種別による内訳は、急病が1,148件と半数以上を占め、全体の約60%となっている。次いで一般負傷の261件（約14%）、交通事故の213件（約11%）となっている。

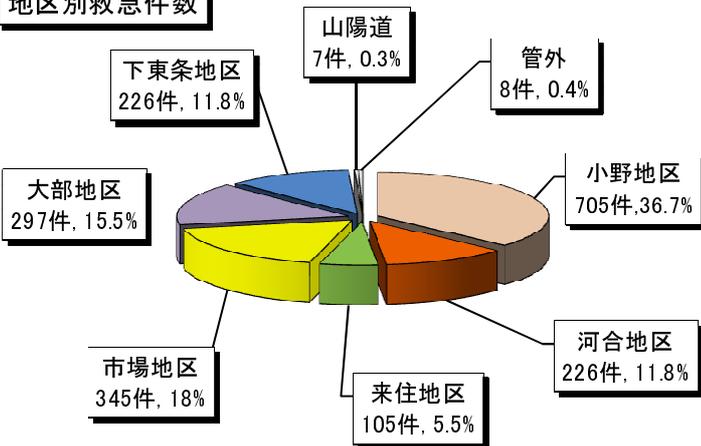
昨年より増加しているのは、急病59件、自損行為4件、労働災害2件、水難1件、加害1件で、逆に減少しているのが、一般負傷19件、交通事故15件、転院搬送7件、その他4件、運動競技3件、火災2件である。

なお、自然災害については昨年と同じく発生していない。

事故種別救急出場件数比較



地区別救急件数

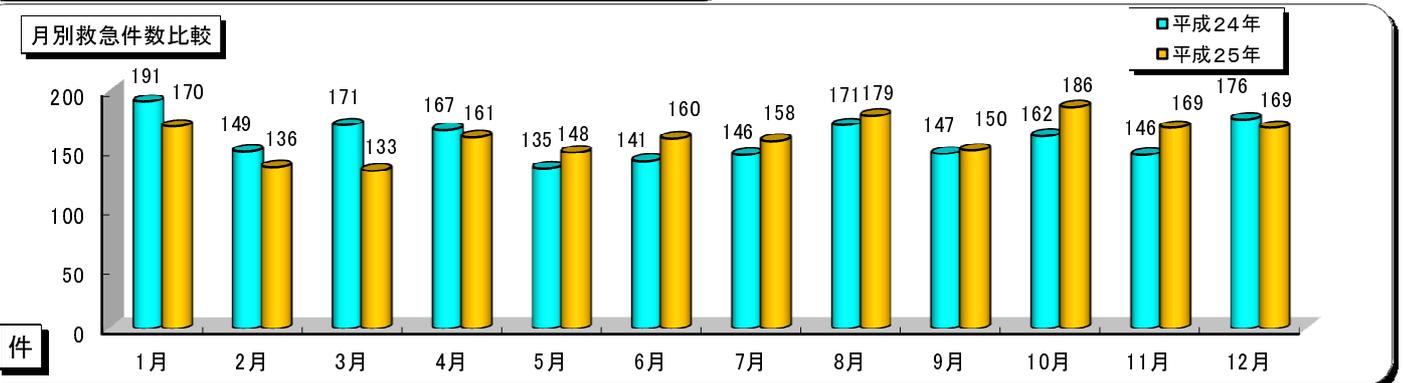


## 地区別救急概要

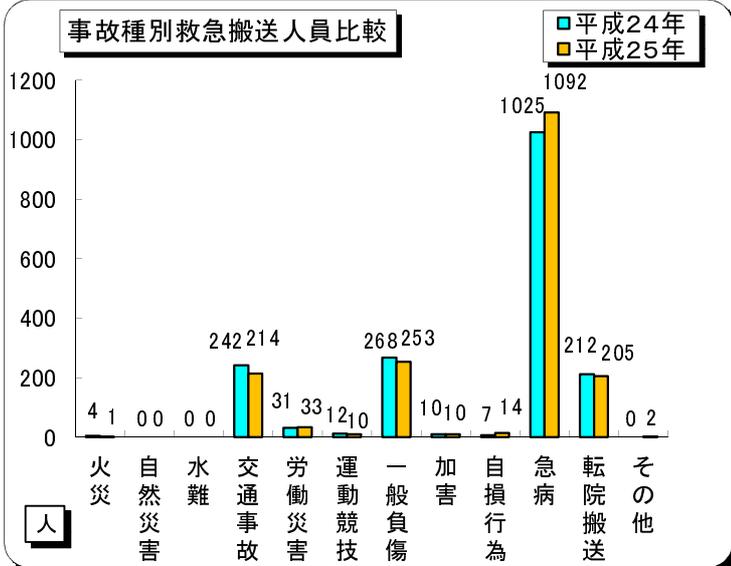
救急出場件数を地区別にみると、小野地区が705件で全体の36.7%を占め、次いで市場地区が345件、大部地区が297件、河合地区と下東条地区が226件、来住地区が105件、その他（山陽道・管外）が15件となっている。

また、下の表のとおり、月別では、10月の186件が最多で、逆に最少は3月の133件となっており、1ヶ月平均では約160件となっている。

月別救急件数比較



事故種別救急搬送人員比較



## 搬送人員状況

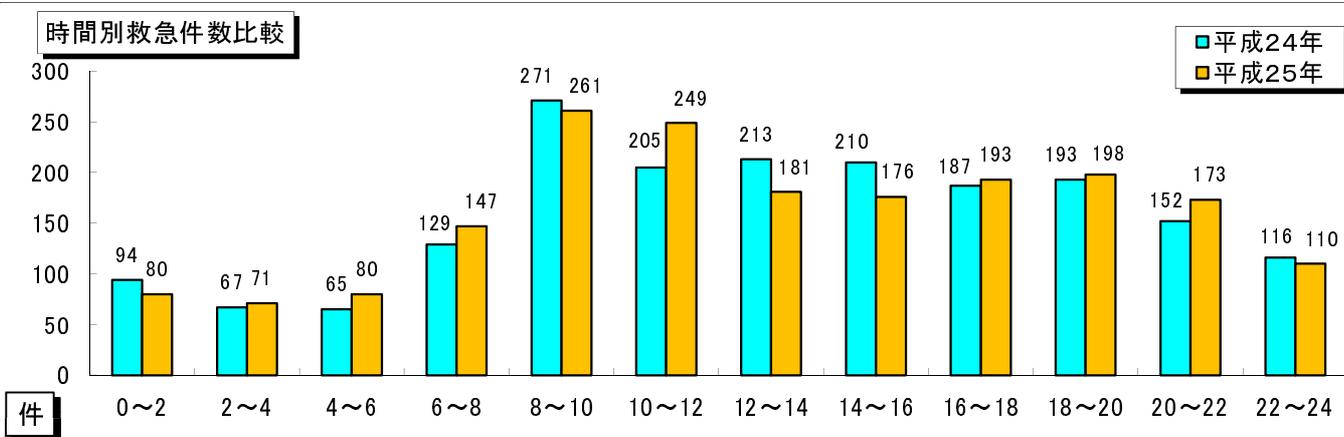
搬送人員は、1,834人で昨年より23人の増加となり、市民の約27人に1人が救急車を利用したことになる。

時間帯別で見ると、8時～10時が出場のピークとなっており、曜日別では、月曜日が最も多く出場している。

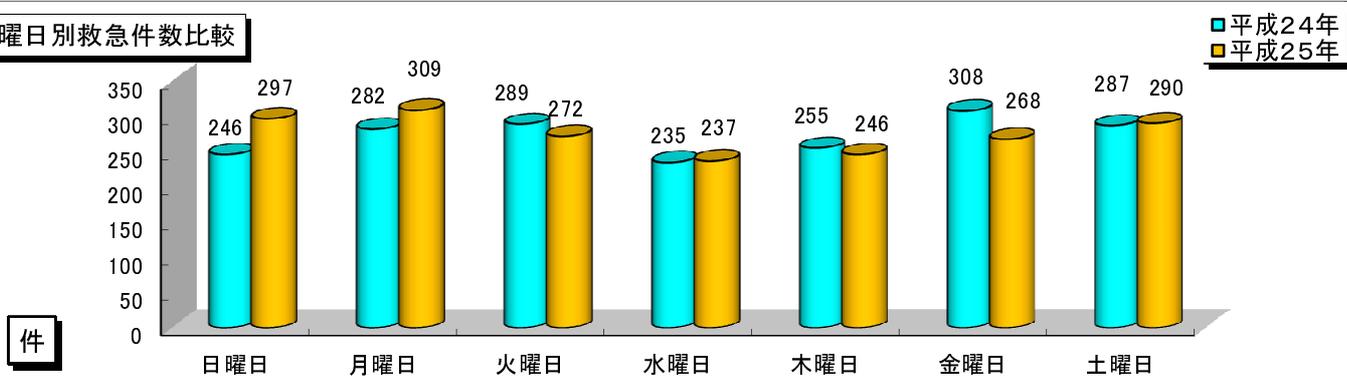
性別をみると、男性が980人で、女性が854人となっている。

また、年齢別にみると、60歳以上の方が1,054人で全体の約57%を占めている。

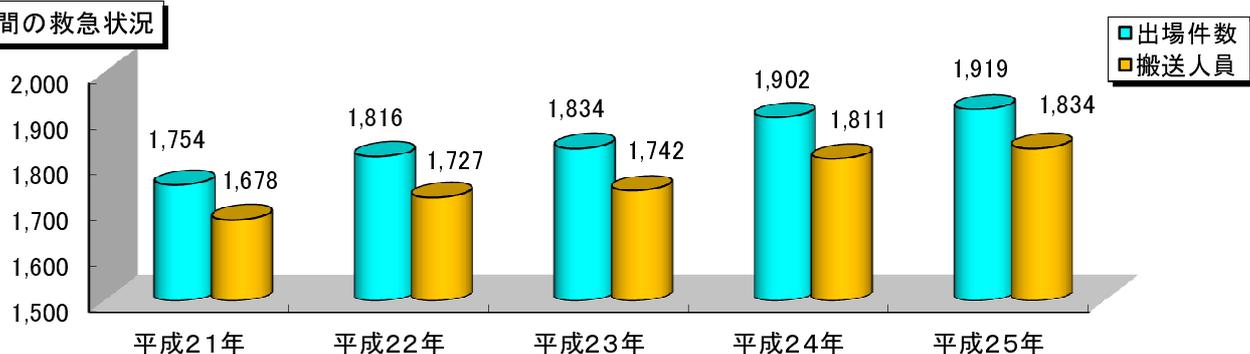
時間別救急件数比較



曜日別救急件数比較



過去5年間の救急状況

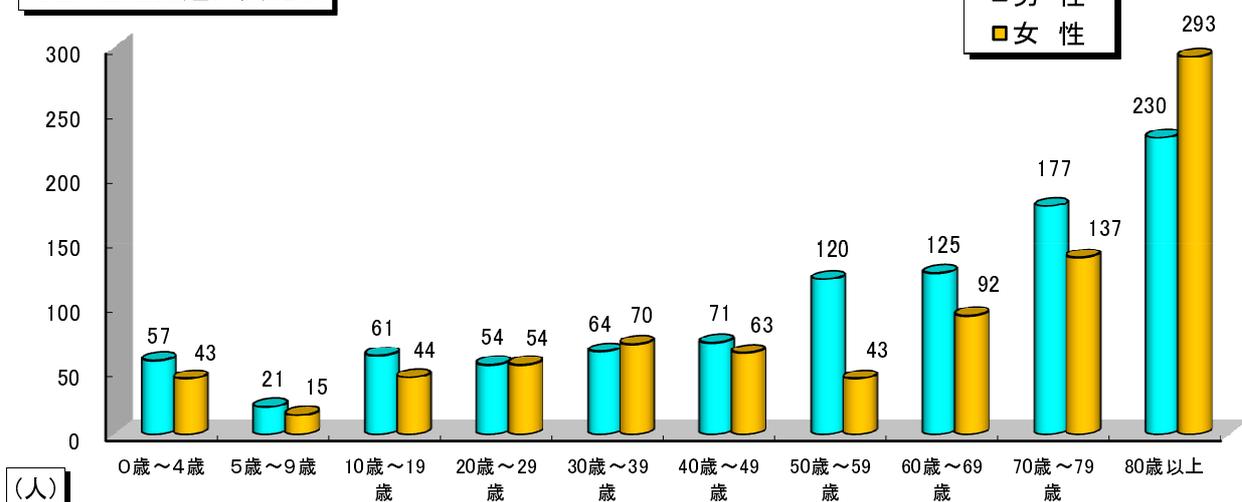


### 年齢・性別搬送人員比較

(単位：人)

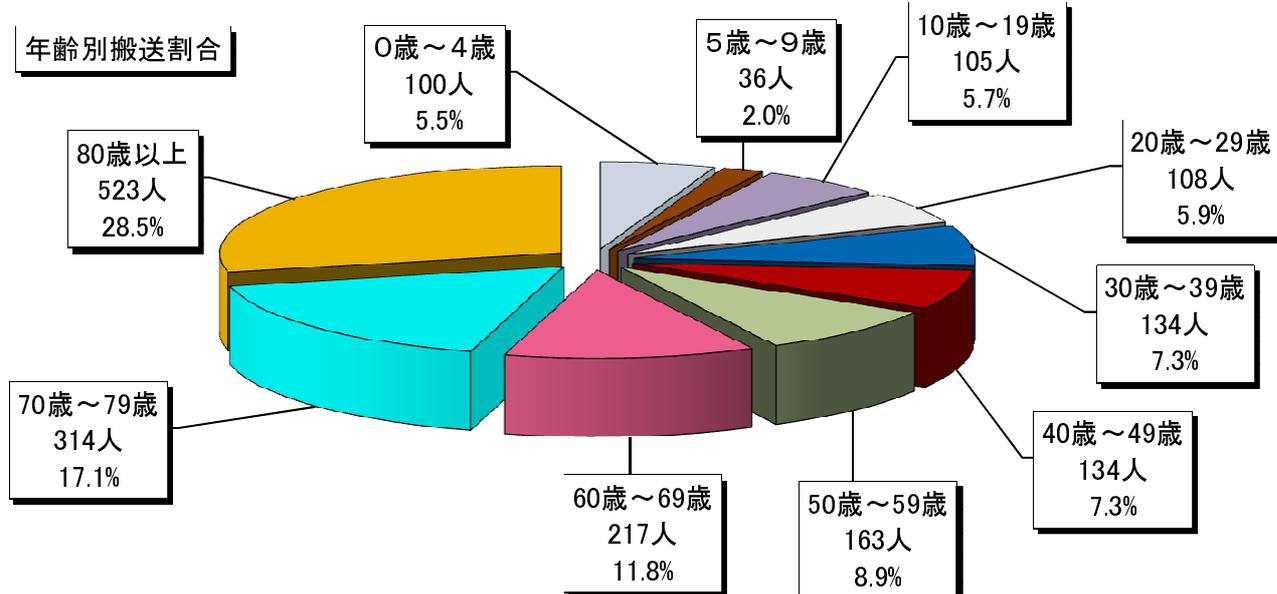
年齢別	平成25年			平成24年			昨年度比較		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳～4歳	57	43	100	60	35	95	-3	8	5
5歳～9歳	21	15	36	27	12	39	-6	3	-3
10歳～19歳	61	44	105	52	31	83	9	13	22
20歳～29歳	54	54	108	52	66	118	2	-12	-10
30歳～39歳	64	70	134	60	51	111	4	19	23
40歳～49歳	71	63	134	71	54	125	0	9	9
50歳～59歳	120	43	163	88	59	147	32	-16	16
60歳～69歳	125	92	217	125	98	223	0	-6	-6
70歳～79歳	177	137	314	195	154	349	-18	-17	-35
80歳以上	230	293	523	230	291	521	0	2	2
合計	980	854	1,834	960	851	1,811	20	3	23

年齢・性別搬送人員比較



(人)

年齢別搬送割合

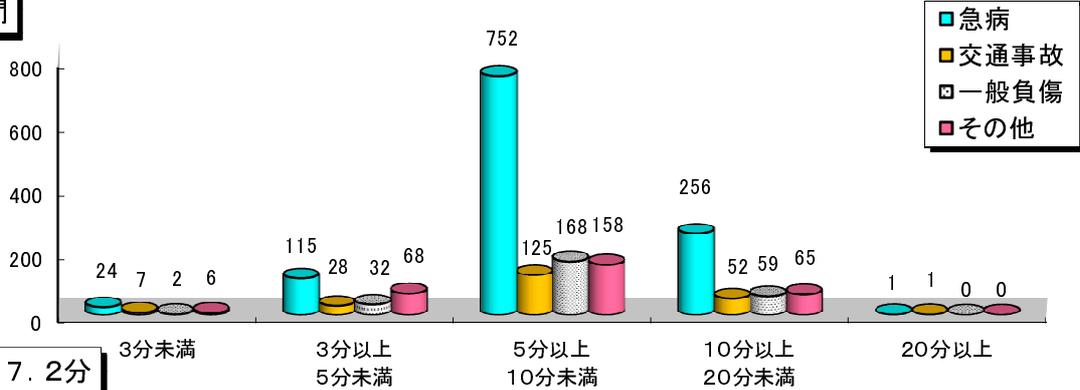


# 救急所要時間状況

救急隊が現場到着に要した時間は、119番の入電から通報時間も含めて平均で約7.2分、医療機関へ搬送されるまでの所要時間は平均で約41.2分を要している。

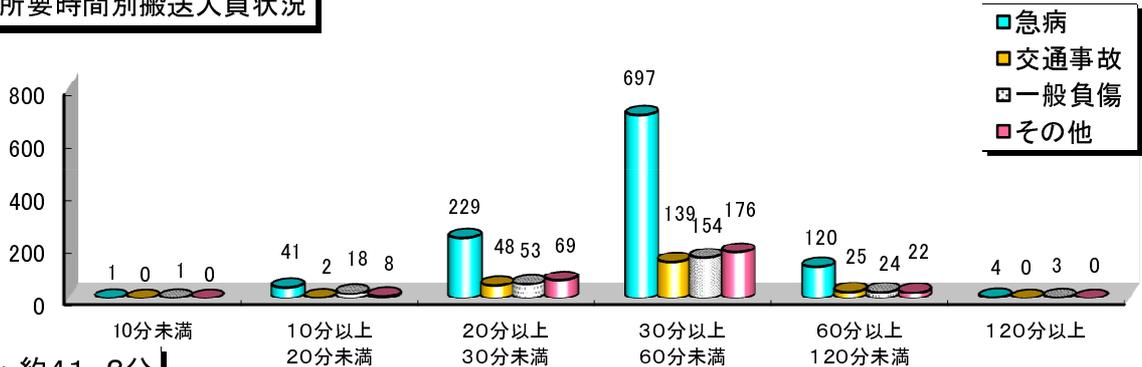
傷病者が搬送された医療機関を地域別にみると、小野市内が617人で全体の約33.6%を占め、次いで三木市内への406人、西脇市内へ289人、加古川市内へ237人となっている。

現場到着所要時間



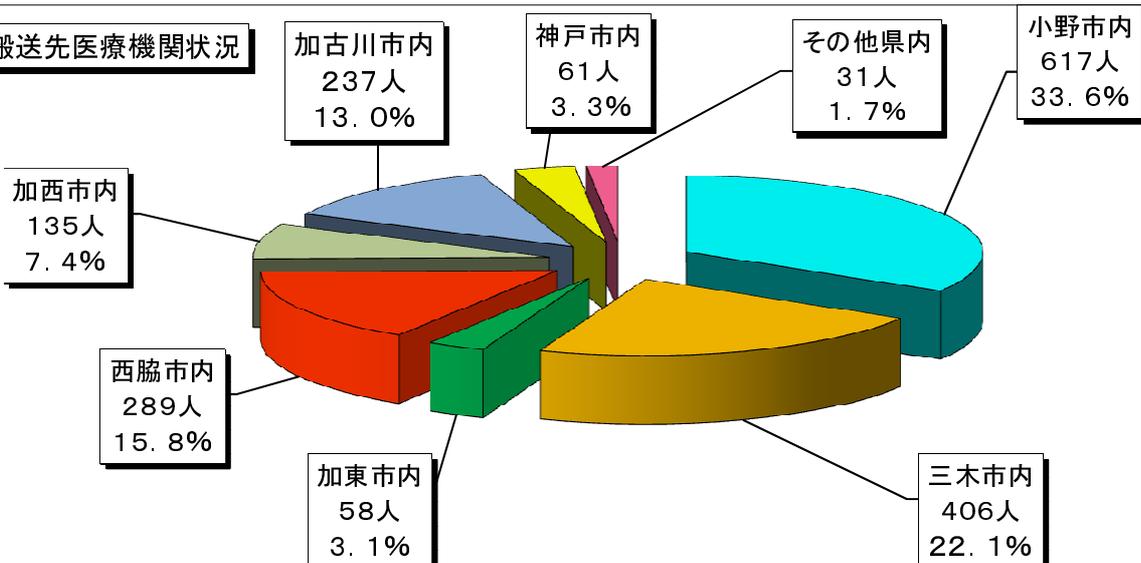
件 平均：約7.2分

医療機関収容所要時間別搬送人員状況



人 平均：約41.2分

搬送先医療機関状況



## 事故種別でみる地域別搬送先医療機関の搬送傷病者数

(単位:人)

搬送地別	事故種別	救 急 事 故 種 別												合 計
		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他		
												転 院 搬 送	そ の 他	
小 野 市 内	0	0	0	83	14	5	97	3	5	386	24	0	617	
三 木 市 内	0	0	0	19	4	2	36	1	6	295	43	0	406	
加 東 市 内	0	0	0	6	0	0	14	0	0	28	10	0	58	
西 脇 市 内	0	0	0	41	8	0	51	2	0	155	32	0	289	
加 西 市 内	0	0	0	5	0	2	10	0	1	95	22	0	135	
加 古 川 市 内	1	0	0	54	7	1	38	4	2	90	40	0	237	
神 戸 市 内	0	0	0	5	0	0	2	0	0	24	30	0	61	
そ の 他 県 内	0	0	0	1	0	0	5	0	0	19	6	0	31	
合 計	1	0	0	214	33	10	253	10	14	1,092	207	0	1,834	

## 急病件数に対する過去5年間の比較

事故種別の中で最も多いのは急病である。  
昨年と比較して件数は59件、搬送人員は67人増加している。

区 分	年 別				
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
急 病 件 数 (件)	944	975	1,008	1,089	1,148
全件に対する構成比	53.8%	53.7%	55.0%	57.3%	59.8%
搬 送 人 員 (人)	870	911	955	1,025	1,092
全搬送人員に対する構成比	51.8%	52.8%	54.8%	56.6%	59.5%

## 急病にかかる疾病分類別傷病程度

(単位:人)

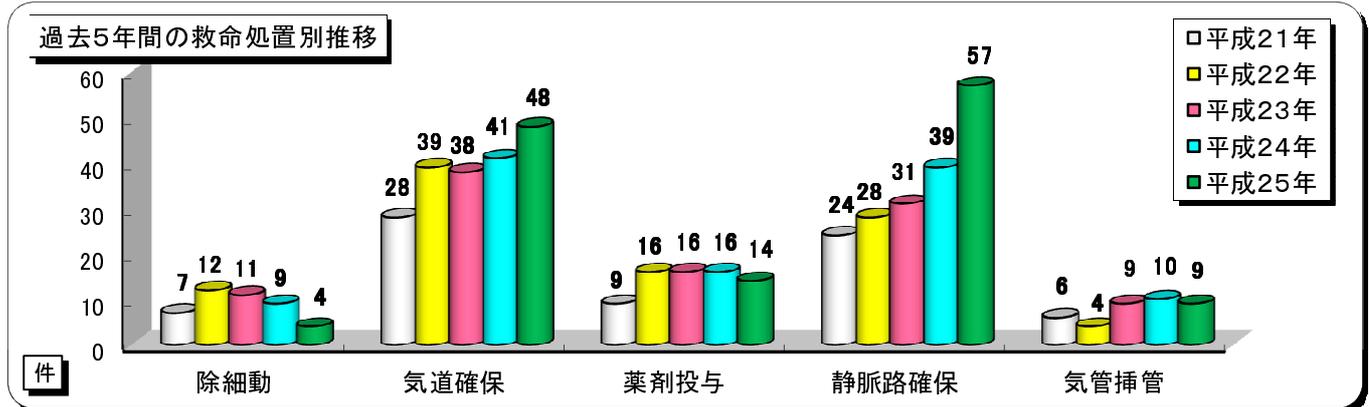
疾病分類	傷病程度	傷 病 程 度				合 計
		死 亡	重 症	中等症	軽 症	
循 環 系	脳 疾 患	0	19	45	13	77
	心疾患等	27	21	61	32	141
	消 化 系	1	1	39	23	64
	呼 吸 系	2	7	56	23	88
	精 神 系	0	1	7	22	30
	感 覚 系	0	0	18	44	62
	泌 尿 系	0	1	14	23	38
	新 生 物 系	1	4	5	1	11
	そ の 他	1	7	70	121	199
	症状等不明確状態	2	9	117	254	382
	合 計	34	70	432	556	1,092

# 応急処置・救命処置実施状況

平成25年中の搬送人員は1,834人で、この内、救急隊員が何らかの応急処置を施したものは、全搬送人員の約99%にあたる1,827人である。応急処置実施総数は、6,432件となっている。これは搬送人員1人あたり約3件の処置をしたことになる。

また、救急救命士による救命処置件数は、対象者62人のうち、気道確保(ラリングアルチューブ等)を57件(うち気管挿管を9件)、除細動を4件、静脈路確保を57件、薬剤投与を14件実施している。

処置別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	止血		7	6	18	8
固定		9	169	38	23	239
人工呼吸		6	1	0	2	9
胸骨圧迫		0	0	0	0	0
心肺蘇生		42	2	10	8	62
	うち自動	0	0	0	0	0
酸素吸入		291	60	22	82	455
気道確保(特定行為除く)		14	0	2	7	23
保温		252	64	44	55	415
被覆		15	42	70	24	151
在宅療法継続		14	0	1	0	15
ショックパンツ		0	0	0	0	0
その他		43	1	8	7	59
血圧測定		1,005	206	228	257	1,696
聴診器による心・呼吸音聴取		278	110	40	45	473
血中酸素飽和度測定		1,052	207	242	265	1,766
心電図		652	73	57	116	898
	うち伝送	0	0	0	0	0
応急処置合計		3,680	941	780	899	6,300
救命処置	気道確保(ラリングアルチューブ等)	39	2	9	7	57
	うち気管挿管	(4)	(0)	(5)	(0)	(9)
	除細動	4	0	0	0	4
	静脈路確保	38	2	10	7	57
	薬剤投与	8	2	1	3	14
救命処置合計		89	6	20	17	132
応急処置総合計		3,769	947	800	916	6,432
応急処置対象人員		1,088	212	253	274	1,827



# 平成25年 救助概要

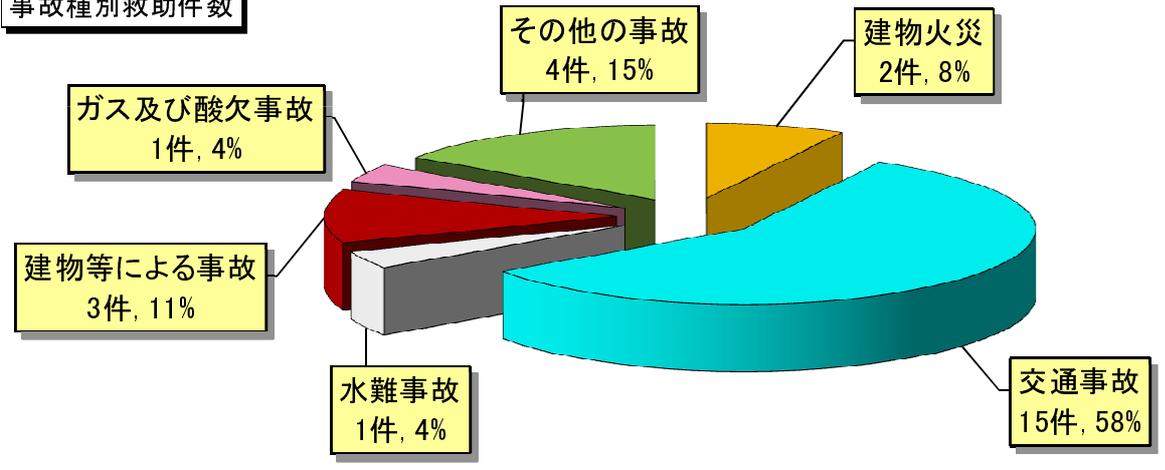
平成25年中の救助出動件数は26件で、このうち救助されたのは10人である。

昨年と比較すると出動件数は7件減少し、救助された人は1人減少している。

事故種別の出動件数を昨年と比較すると、増加したのは建物火災2件、水難事故1件、ガス及び酸欠事故1件で、逆に減少したのは、交通事故9件である。建物等による事故3件、その他の事故4件は昨年と同件数である。機械による事故の出動はなかった。

区分 事故種別	平成25年			平成24年			前年比較		
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員
建物火災	2	0	0	0	0	0	2	0	0
交通事故	15	5	5	24	6	6	-9	-1	-1
水難事故	1	1	1	0	0	0	1	1	1
機械による事故	0	0	0	2	1	2	-2	-1	-2
建物等による事故	3	2	2	3	1	1	0	1	1
ガス及び酸欠事故	1	0	0	0	0	0	1	0	0
その他の事故	4	2	2	4	2	2	0	0	0
合計	26	10	10	33	10	11	-7	0	-1

**事故種別救助件数**



**救助出動事故種別比較**

